

演奏に
役立つ

One Point Lesson

TROMBONE

トロンボーン

山下浩生 やました・ひろお



- ◆出身 香川県立坂出高校、大阪教育大学・同専攻科
- ◆所属 宝塚歌劇オーケストラ、ジャパンプラスコレクション、アポロトロンボーンカルテット、大阪音楽大学、他
- ◆趣味 数独（ナンバープレイス）、運転、種類
- ◆血液型 O型
- ◆星座 おひつじ座
- ◆読者にひとこと 自分の音と向き合う時間を持ちましよう。
- ◆手紙の送り先 hirooyama shitabj@me.com

“インターバル”の練習(1)

こんにちは。先月のスケール、間違えずに吹けるようになりましたか？ 最初は途中でつかえたりしてイライラしがちですが、根気よく練習してください。長調のスケールはご存知のように12種類ありますので、全て暗譜で吹けるようになるのが目標です。

さて、今月の課題は「インターバル」です。これは音楽用語としては、2つの音の距離がどれくらい離れているかを指す言葉なのですが、エチュードなどの中では一定の音程（三度、四度など）を使いながらスケールの練習をすることにも使われます。これもとても重要な練習なのですが、なかなか手ごわいので継続してトレーニングしないと上手に吹けません。根気よく取り組んでくださいね。

それぞれの練習で、1拍目と2拍目、3拍目と4拍目をスラーでつなぐ、あるいは2拍目と3拍目、4拍目と次の小節の1拍目をスラーでつないでの練習も行ないましょう。メ

[譜例 1]

[譜例 2]

トロノームは必ず使ってください。「ゆっくりからだんだん速く」です。

■三度と四度の練習

[譜例 1]：まず B-dur (変口長調) です。吹き慣れている調ですから、すぐに慣れますね。

[譜例 2]：続いて F-dur (へ長調) です。これもまだまだ余裕がありますね（そうあってほしいです）

[譜例 3]：Es-dur (変ホ長調) です。まだ大丈夫でしょうか？

三度、四度音程の練習だけでページがなくなるのは困るので、次の音程にいきたいと思えます。ここまで余裕で吹けるようになった人は、フラット5個、シャープ3個くらいまでを目標に、自分で五線紙に書き出して練習してみましょう。

[譜例 3]

[譜例 4]

■四度と五度の練習

難易度がかなり上がります。投げ出さずにじっくり練習してください。

[譜例 4]：B-dur (変口長調) です。コツは楽譜から目を離さず、自分が今吹いている音を聴きながら次の音をイメージすることです。気を抜くとわからなくなりますよ。

[譜例 5]：As-dur (変イ長調) です。難しいです。根気よくスライドが迷わず次のポジションに移動できるまで練習します。

[譜例 6]：C-dur (ハ長調) です。人により、As-dur より難しく感じる人もいます。

今月はここまでです。来月号では、もう少し遠い音程の練習をしたいと思いますので、それまでの課題を耳と腕が覚えるまで毎日練習してください。

[譜例 5]

[譜例 6]